

12/7 臼石小で「税金教室」 クイズやビデオで「税金」を楽しく理解



▲税務係職員の話に熱心に聞き入る児童たち

白石小学校で、6年生を対象に「税金教室」が行われました。この教室は、児童たちに税金について理解を深めてもらおうと、各学校からの要望に応じて、税務署と市町村が協力して行っています。

この日は、村の税務係職員2人が講師を務め、税金の種類や仕組みを紹介したり、税金がなくなってしまうと世界のアニメビデオを上映しました。

また、教室の机とイスや救急車・



▲1億円分の紙束を持ち上げる児童

消防車などの値段を当てる税金クイズも行ないながら、税金の使いみちや必要性を説明しました。

教室の最後には1億円の重さ体験も行われ、職員が用意した見本の1億円（約10キログラム）を児童一人ひとりが持ち上げ、その重さに歓声をあげていました。

授業後、児童たちは「改めて税金は大切だと思った」「私たちは税金があることで生きていることを知った」「今まで税金には悪のイメージがあったけど、話を聞いて大切だということが分かった」「自分も大人になったら仕事をして、きちんと税金を払いたい」などと感想を話していました。

一番「までい」なものは自分の健康



今、平成19年度の国の予算が決めかろうとしています。したがって、近頃要望活動で東京に出る機会が何度かありました。

東京では国会議員や各省庁を回るのですが、ほとんどが徒歩です。時には、2時間も3時間も歩きづめということがあります。

ですから、帰ってくると、もうクタクタ。足が棒のようになったり、腫れが出てくるような時もあります。要は、それだけ足をつかっている、村の中では歩くことが少ないということ。村の中では、隣に行くのにも、ついハンドルをにぎってしまいますからね。

本来は、田舎の方が足腰は強かったはずなのに、今は完全に逆転して、都会の人のほうがはるかに足腰を鍛えているということです。

私たちは良く「足から弱る」と言われます。ですから村民の健康づくりを考えるならば、まず足をしっかりと鍛えておくことが土台づくりのような気がします。

もちろん、人間の健康づくりにとって食べ物がとても大切な要素なのだという考え方も、全国で広まっています。

朝ごはんを食べないで学校へ行く子どもが少しずつ増えてきており、それがイライラをつのらせ「キレル」きっかけとも言われているようです。

飯舘村のような農村に住んでいることが、プラスになるということになりざしらず、マイナス要因になつては、どうしようもありません。

「飯舘村に住んでいる優位性をじっくり考えて、活用して、実行していかないといけないな」と、東京歩きをしてつくづく思ったことでした。

一番「までい」にしなければいけないのは「自分の命」であり「健康」です。飯舘村らしい「健康づくり」を進める年にしたいと思っています。

平成18年12月12日
飯舘村長 菅野 典雄

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



10団体が29演目を披露

11/26

第22回芸能発表会



▲発表会のようす

村文化協会（長谷川利治会長）が主催する「第22回芸能発表会」が公民館で開催され、村内の芸能団体が唄や踊りなどを華やかに披露しました。

今回の発表会には、民謡会や琴の会、お母さんコーラス、太鼓、フラクラブなど10団体、延べ100人以上が出演。3時間以上わたって29演目が発表され、会場に訪れた約200人の観客らは、ステージ上で繰り広げられる華やかな踊りや演奏に大きな拍手を送っていました。



▲子どもも出演した民謡同好会

ひと足はやいクリスマス

12/15

飯舘幼稚園「お楽しみ会」

飯舘幼稚園で「お楽しみ会」が行われ、園児たちが幼稚園のクリスマスを楽しみました。

お楽しみ会では、はじめにクリスマスにちなんだアニメが上映された後、園児たちが曲に合わせてダンスを踊ったり、歌を歌ったりしました。続いて、サンタに変装して登場した村英語指導助手のトレーシーさん（ニュージランド出身）から、一人ひとりにプレゼントが手渡され、園児たちはうれしそうに受け取っていました。



▲歌に合わせてダンスを踊る園児たち



▲サンタからプレゼントを受け取る園児たち



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ

親の氏名

行政区

松村孝樹くん	利矢・和	佐 須
大内瑠偉くん	亮・彩香	八木沢・芦原
高橋正人くん	正夫・比奈	上 飯 樋

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名

行政区

届け出はありませんでした

お く や み

氏 名

年 齢

行政区

中 島 トメヨ	90	比 曾
佐 藤 晴 海	84	二枚橋・須萱
佐 藤 口 ク	89	上 飯 樋
松 下 田	85	草 野
佐 藤 栄 子	49	富 岡 町
伏 見 讓 仁	21	関 沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成18年12月1日現在)

人 口	今 月 (前月比)	昨年同期
男	3265人 (+2人)	3338人
女	3304人 (+6人)	3368人
計	6569人 (+8人)	6706人
世帯数	1748戸 (+3戸)	1744戸

◆◆◆ 11月1日～30日までの人口動態 ◆◆◆

転入	12人	転出	3人
出生	3人	死亡	4人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

村野球連盟「納会」

12/20

村野球連盟の 18年度リーグ戦結果

村野球連盟の18年度リーグ戦が終了し、公民館多目的集会所で連盟の納会が行われました。各チームの代表者ら20人が参加した納会では、今年度のリーグ戦結果が発表され、優勝チーム「ファイターズ」を代表して古川正一さんに、佐藤正幸理事長から優勝旗が手渡されました。同チームの優勝は3年連続です。

ファイターズ」3連覇



▲優勝旗を受け取る古川さん

引き続き懇親会が行われ、参加者らは1年間のリーグ戦を振り返りながら親睦を深めていました。
18年度リーグ戦成績
▽優勝ファイターズ▽準優勝ファーマーズ▽3位12区野球クラブ

「八和ホスポーツクラブ」3連覇

村ソフトボール連盟の全日程が終了

村ソフトボール連盟(遠藤栄会長)の今年度の全日程が終了し、リーグ戦は6戦全勝の「八和ホスポーツクラブ」が3連覇(公式戦26連勝)を達成しました。今年度は、リーグ戦のほかに「秋季大会」も開催。また、会員の審判技術向上のため、第1種審判員の三瓶政美さんを講師に招いて「審判講習会」も開催し、10人が熱心に指導を受けました。
リーグ戦結果
▽優勝八和ホスポーツクラブ▽準優勝I・M・S・C



▲審判講習会のようす

▽3位オール前田ソフトクラブ▽3位上飯樋ソフトクラブ
秋季大会結果
▽優勝オール前田ソフトクラブ▽準優勝八和ホスポーツクラブ
※得失点差により順位決定

飯樋FCスポーツ少年団



▲県大会へ出場する飯樋FCスポーツ少年団

県大会へ出場

(財)県サッカー協会が主催する「第29回コカ・コーラ杯争奪戦(県サッカースポーツ少年団フェスティバル)」の予選リーグで、飯樋FCスポーツ少年団が2位に入り、県大会出場を決めました。

同少年団は、予選1次リーグ(相馬ブロック)で4戦全勝の1位。続く予選2次リーグ(相双ブロック)でも4戦全勝の1位。最終順位を決定する3次リーグで1勝1引き分けとなり、原町二小とのPK戦の結果2位となりました。
県大会は1月7日・8日の2日間、いわき市で開催されます。

スポーツ少年団 「剣道大会」を開催



▲稽古の成果を発揮する団員たち

飯館剣道スポーツ少年団(三瓶政美代表)では、1年間の稽古の成果を試す「団内剣道大会」を柔剣道場で開催しました。
当日は、高校生の愛澤聡史君と佐藤将樹君にも応援と審判をしていただきました。
団員たちの1年間の成長は目を見張るものがあり、今後の活動がますます楽しみです。
大会の結果は次のとおりです。
初級の部(面打ち5本)
▽優勝・只野葵さん▽準優勝・只野太翔君▽3位・佐藤祐太君
中級の部(2分間3本勝負延長なし)
▽優勝・高橋芳仁君▽準優勝・田口宝路君▽3位・高橋伸仁君
上級の部(2分間3本勝負延長一回)
▽優勝・愛澤裕輝君▽準優勝・吉田尚記君▽3位・原田 朋君

「までい」マークを商標登録

11/17

独自ブランドを広く発信



▲商標登録証



までい

▲商標登録した「までい」マーク

村では、「までい」の独自ブランドを確立し、農産物などの販路拡大や村のイメージアップにつなげようと、今年1月に特許庁へ「までい」マークの商標登録を申請し、このほど認定されました。
商標とは、自分を取り扱う商品やサービスを他人のものと区別するために使用するマーク(標識)をいいます。今回は米や野菜、食肉、飲料水、酒類など5分類100品目を使用対象として登録しました。マークの登録と活用によって品目の差別化が図られ、独自性のアピールなど村産農産物の振興が期待されます。
現在、職員で構成する庁内連絡会議(委員長・助役)で具体的な活用・推進方法等を検討しており、今後、農産物をはじめ保健福祉など様々な分野においてマークを使用し、「までい」ブランドを広く発信していくことにしています。